

平成28年度 岐阜大学
次世代地域リーダー育成プログラム
産業リーダー実践 企業向け成果発表会



次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダーコース」の上級段階に進んだ学生6名の成果発表が行われました(平成29年1月25日)。

岐阜大学 地域協学センター長 ご挨拶



センター長・教授
益川浩一

岐阜大学は「地域活性化の中核拠点」を目指し、その推進部局として、地域協学センターを平成25年12月に設置して、3年余りがたちました。平成27年度から地域協学センターが中心となって全学的に展開している「次世代地域リーダー育成プログラム」は、岐阜大学生が岐阜という地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材を育成するための教育プログラムです。

平成27年度は「次世代地域リーダー育成プログラム」に初めての修了生を輩出し、平成28年度は「次世代地域リーダー育成プログラム」に新しく「産業リーダーコース」を開設するなど、学生が地域・産業界と関わり、大きく成長できる教育プログラムを拡充しています。その取組みは「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業委員会」の平成28年度評価で、最高の「S」の評価を得ています。

こうした本学の取組みをもっと多くの学生の皆さんに知っていただきたいとの思いから、地域協学ニュースを発行する運びとなりました。学生の皆さんが大きく成長され、地域や産業界で活躍されることを心より願っております。

TOPICS

- 01 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の平成28年度評価で、最高の「S」の評価をいただきました(「S」の評価は全76大学中、岐阜大学含め7大学)。
- 02 次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダーコース」産業リーダー実践の成果発表会を実施しました。
- 03 「地域リーダー実践(上級)Ⅰ、Ⅱ」受講生のうち、柳ヶ瀬チームが「#やながせ初心者ツアー」を実施しました。
- 04 第8回ぎふフューチャーセンター「企業・学生・大学の関係者にとってより良いインターンシップとは何かを考えよう」を実施しました。

02.次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダーコース」産業リーダー実践の成果発表会を実施しました。

次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダーコース」の上級科目「産業リーダー実践」の成果発表会を平成29年1月25日に実施しました。地域科学部・工学部の2年生・3年生の合計6名の受講生が十六銀行から課題の提示を受けて、約3か月間かけて検討し、十六銀行に対して提案を行いました。

(平成29年1月27日の岐阜新聞に記事が掲載されました)



新聞掲載されました

News

■1/29 宇宙工学講座閉講式

高大連携の一環として6月からスタートした岐阜県内の高校生対象の宇宙工学講座の閉講式が行われ、第一期修了生が輩出されました。



■1/30 自己省察と将来のキャリア設計交流会

次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダーコース」の講義の一環で企業人との交流会を行いました。学生からは「将来への不安が減った」「子育てと仕事の両立の話が聞けた」等の声がありました。



■1/31 プロジェクト型インターンシップ成果発表会

株式会社秋田屋本店の新商品広報、本巣市文化ホールの活用の提案を行いました。



新聞掲載されました

03.「地域リーダー実践（上級）Ⅰ、Ⅱ」受講生のうち、柳ヶ瀬チームが「#やながせ初心者ツアー」を実施しました。

「地域リーダー実践（上級）」は1年を通して、地域の課題解決に向けて実際に活動を行う科目です。今年度は9人が受講し、中津川チームと柳ヶ瀬チームに分かれて取り組んできました。中津川チームは昨年11月に「特産阿岐そば・シクラメン祭り」のリニューアルに伴い花冠ワークショップを企画、実施しました。柳ヶ瀬チームは、「柳ヶ瀬商店街はリピーターが多く新しく訪れる人が少ない」「ネットで情報が見つけにくい」という2つの課題から、Twitterでの情報発信を中心に広報を行い「#やながせ初心者ツアー」を企画。当日(平成29年1月15日)は雪のためキャンセルも出ましたが、午前・午後合わせて13名の参加者に柳ヶ瀬商店街を案内しました。



参加者全員が「また柳ヶ瀬に来たい」とアンケートに回答していて満足度高く実施できた一方で、TwitterよりFacebookの方が反応が良かった等の反省材料もあり、受講生は実際の活動として課題に取り組むことの難しさややりがいを実感したようです。

04.第8回ぎふフューチャーセンター「企業・学生・大学の関係者にとってより良いインターンシップとは何かを考えよう」を実施しました。

地域協学センターが平成28年度に新設した「次世代地域リーダー育成プログラム『産業リーダーコース』」は、インターンシップを核とした3ステップの教育プログラムを実施しています。

今回のフューチャーセンター(平成29年1月25日)はインターンシップ受入企業、大学関係者及び大学生を交え、より良いインターンシップに改善するきっかけにしたいと考え開催しました。参加した学生は「インターンシップに参加する企業の考え方が少しでも知ることができた」「学生としては、このような場は大切だと感じました。インターンシップは学生の成長、就職に大切だと感じており、多様な人たちと話せてよかったと思いました」という感想がありました。



Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

【Pick Up!】

中部地区COC事業採択校学生交流会



学びの成果を報告します!

3月1日 中部地区COC事業採択校学生交流会

(場所:じゅうろくぶらぎ、時刻:13時30分~17時15分、申し込み:不要)

岐阜大学・金沢工業大学が幹事校となり、中部地区を中心としたCOC事業(またはCOC+)採択の大学(昨年度実績11大学)の学生が地域での活動やその成果を学生・大学関係者、地域の方々及び企業関係者に向けて発表します。

3月8日 平成28年度後期合同インターンシップ成果発表会

(場所:岐阜大学サテライトキャンパス、時刻:13時~17時、申し込み:不要)

全学共通教育科目として開講し、単位認定している4科目のインターンシップの受講学生による成果発表を行います。

3月21日 平成28年度地域協学センターシンポジウム

(場所:岐阜大学・講堂、時刻:14時~17時30分、申し込み:不要)

地域協学センターの今年度の取組みを報告します。学生、地域コーディネーター、地域志向学プロジェクトの報告をします。次世代地域リーダー育成プログラムの修了生への修了証授与式と合わせ、称号授与も行います。



岐阜大学・金沢工業大学が幹事校となり、12大学合同の中部地区COC事業採択校学生交流会を実施しました(平成29年3月1日)。

TOPICS

- 01 中部地区COC事業採択校学生交流会を実施しました。
- 02 次世代地域リーダー育成プログラム「地域リーダーコース」地域リーダー実践の成果発表会を実施しました。
- 03 ぎふCOC+参加大学共通プログラム「西濃企業見学会」を実施しました。
- 04 第10回 ぎふフューチャーセンター「現場で探る、商店街の課題と可能性—多治見ながせ商店街—」を実施しました。

01. 中部地区COC事業採択校学生交流会を実施しました。

3月1日に岐阜大学及び金沢工業大学が幹事校となり、JR岐阜駅前のじゅうろくプラザを会場に中部地区COC事業採択校学生交流会を開催しました(12大学参加、昨年度11大学)。学生交流会では、各大学の代表学生が今年度の活動を発表するとともに、ポスターセッションにて互いの活動について情報を発信し、交流を深めました。

岐阜大学からは、次世代地域リーダー育成プログラムの上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の受講生が、中津川市阿木地区で毎年開催される「特産安岐そば・シクラメン祭り」に学生企画として提案した「シクラメン花冠ワークショップ」の調査・情報収集、企画立案から実施までの1年間の活動の成果を発表しました。



※大学COC事業...「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としている事業です。

発表学生からは、「同年代の参加者が素晴らしい成果をあげていたり、的確な質問を投げかけていたり、とても刺激になった。また参加したい」という声が聞かれ、他の大学の取組みを知る有益な場となりました。



中部地区COC事業採択校学生交流会の実施概要

参加者数	約100人
場所	じゅうろくプラザ
参加大学 (発表順)	香川大学、金沢工業大学、岐阜大学、皇学館大学、滋賀県立大学、静岡大学、中部大学、富山県立大学、名古屋学院大学、日本福祉大学、福井大学、三重大学

◎福士秀人理事・副学長(COC・COC+事業推進責任者)からのコメント

中部地区COC事業採択校学生交流会は第3回を迎えることができました。今回の交流会はこれまで以上に学生の皆さんの活躍が素晴らしいことを目の当たりにすることになりました。特に、それぞれの大学の特色がうまく打ち出されて来たという印象を持ちました。COC事業がそれぞれの大学に定着し、芽生えた証ではないでしょうか。



News

02.次世代地域リーダー育成プログラム「地域リーダーコース」地域リーダー実践の成果発表会を実施しました。

今年度は9人が受講した「地域リーダー実践（上級）」。地元のお祭りで花冠ワークショップを実施した中津川チームと、商店街に初心者呼び込むツアーを実施した柳ヶ瀬チームが、それぞれ1年間の取組みの成果を発表しました。「協調性を伸ばせた」「企画を進めることの面白さや難しさを学んだ」「地域の方が温かく迎えてくださった」といった感想が述べられ、会場からは「どんなプロセスで企画に至ったのか」「地域とはどれくらい関わるべきだと思うか」等の質問が挙げられました。上級科目を修了した9人には3月に学長から修了証が授与される予定です。



03.ぎふCOC+参加大学共通プログラム「西濃企業見学会」を実施しました。

平成29年2月20日（月）、「共立コンピューターサービス株式会社（KCS株式会社）」、「株式会社デリカサイト」の2社へ企業見学に行きました（3大学の学生16名）。KCS株式会社では、年齢の近い若手社員3名との座談会の場があり、活発なやり取りが交わされました。株式会社デリカサイトでは、「企画開発」を体感するグループワークの時間があり、参加学生同士が短時間で打ち解けあう姿も見られました。



04.第10回 ぎふフューチャーセンター「現場で探る、商店街の課題と可能性 ー多治見ながせ商店街ー」を実施しました。

2月21日（火）に開催した第10回ぎふFCでは、まず多治見市や多治見まちづくり株式会社について学んだあと、商店街を散策しました。参加者は、与えられたミッションに取り組みながら散策することで商店街の課題を深く認識し、その後は活発な意見交換が行われました。ターゲットとキャッチフレーズ、若い感性を生かした活性化策が提案されました。



■ 2/1 第9回ぎふフューチャーセンター

「若者が行きたくなる“竹鼻まちなか”散策コースを考えよう！」が開催されました。学生たちは現地を歩き、観察するフィールドワークを行い、羽島市役所にアイデアや意見の提案を行いました。



■ 2/15 地域商材発掘セミナー

(株)十六銀行と中日本高速道路(株)が高速道路のサービスエリアの地域商材を発掘するため、食品メーカーなどを対象として商品の魅力を発信する方法を考えるワークショップが開催され、岐大生も参加しました。



■ 2/16～ 産業協働型インターンシップⅡ

次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダーコース」の講義で単位が取得できる産業協働型インターンシップⅡ(1単位)を実施しました。5社の企業で22名の学生が、企業の課題解決に取り組みました。



Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

地域協学センターシンポジウム



一年間の成果を報告します！

3月21日 地域協学センターシンポジウム

(場所:岐阜大学・講堂、時刻:14時～17時30分、申込不要)

地域協学センターの今年度の取組みを学生、地域コーディネーター、地域志向学プロジェクトに参画した教員が報告します。また、次世代地域リーダー育成プログラムの修了生への修了証授与式と合わせ、称号授与も行います。

4月6日、10日、12日、19日 インターンシップ科目合同ガイダンス 12時15分～15時

(場所:全学共通教育棟2階21教室、申込不要、説明約30分。①12時15分～②13時～③14時～) 全学共通教育科目として開講するインターンシップ4科目のガイダンスを実施。 ※4月10日のみ13時半～15時(①13時半～②14時～)日程が合わない場合は応相談。



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community

国立大学法人 岐阜大学 文部科学省 地(知)の拠点

■ TEL:058-293-3168

■ mail:ccsc@gifu-u.ac.jp

■ URL:<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/>



地域協学センターシンポジウム「地域活性化の中核拠点を目指して」を開催し、初の「ぎふ次世代地域リーダー」の称号を授与しました。

■ TOPICS

- 01 地域協学センターシンポジウム「地域活性化の中核拠点を目指して」を開催し、初の「ぎふ次世代地域リーダー」の称号を授与しました。
- 02 平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会を開催しました。

01.地域協学センターシンポジウム「地域活性化の中核拠点を目指して」を開催し、初の「ぎふ次世代地域リーダー」の称号を授与しました。

平成29年3月21日（火）、岐阜大学講堂において、岐阜大学が『地域活性化の中核拠点』として推進している「地（知）の拠点整備事業（※1大学COC事業）」及び「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（※2COC+事業）」における教育・研究・社会貢献の活動および成果を広く学内外に向けて発信する機会として、「地域協学センターシンポジウム」を開催しました。（学内外から約140名が参加）

初めに森脇学長より開会の挨拶があり、次に次世代地域リーダー育成プログラム（※3）修了証授与式が行われ、同プログラムの修了者である13名の学生に対して修了証及び「学生コーディネーター」の称号授与に加え、「ぎふ次世代地域リーダー」の称号が5名に授与されました。文部科学省生涯学習政策局・政策課長 里見朋香氏の講演後、研究代表者による地域志向学プロジェクト、地域コーディネーター、次世代地域リーダー育成プログラムを修了した学生、COC+参加大学の学生による活動報告が行われました。



※1 大学COC事業... 「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としている事業です。

※2 COC+事業... 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」は、岐阜をフィールドに自治体や企業等と協働し、産業界との関わりを強化して、インターンシップを核とした3ステップ（①聞く・見る②挑戦する③活躍する）の教育プログラムを実施し、参加大学（*）共通プログラムにより産業界ニーズに適合した人材を育成し、地元就職とUターン就職を推進し、地方創生に貢献することを目的としている事業です。

*参加大学：中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学

※3 次世代地域リーダー育成プログラム...岐阜大学生が地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材になるための教育プログラムです。地域の課題解決のための「地域リーダーコース」と地域産業で活躍するための「産業リーダーコース」があります。

Column

「地域協学センターって何をしている所？」

①教育：次世代地域リーダー育成プログラムを展開



▲「自己省察と将来のキャリア設計」では社会人と交流。他にもたくさんさんの授業が開かれているよ。

②研究：地域志向学術プロジェクトを支援



▲研究成果を報告中。岐大の先生も地域に出て活躍していることが良く分かるよ。

③社会貢献：ぎふフューチャーセンターを開催



▲インターンシップについて対話中。色々なテーマで開催しているのでぜひ参加してみてください。

02.平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会を開催しました。

平成29年3月8日（水）、「平成28年度後期インターンシップ合同成果発表会」を開催しました。

この発表会は、「次世代地域リーダー育成プログラム」で開講するインターンシップ科目あるいは「産業界のより実践的な課題解決」に取り組む科目（産業リーダー実践（上級））のいずれかを受講した学生が、自身の活動内容を地域・産業界に向けて発表する場です。今回は、受入先企業や自治体等の関係者22名、学生・教職員等38名の計60名が参加しました。

他の学生達の発表も聞くことで、新たな気づきを得たり、自身のキャリアアップを図ったりすることにもつながりました。

発表した学生からは「今回のプレゼンテーションの機会を通じて、人に自分の意見を届ける大切さを学ぶことができた」「自分が行った企業以外の学生の発表を聞き、まだまだ知識が不足していることがわかった」などの感想や、発表を聞いた学生からも「今後も積極的にインターンシップに参加したいと思った」などの意見がありました。

平成29年度のインターンシップに関するガイダンスは4月に実施します。地域協学センターが開講するインターンシップは、4月中は履修申請可能ですので、ご興味のある方は、「Event Information」の項をご参照ください。



次世代地域リーダー育成プログラムを修了した学生の声



地域科学部4年
早川 観里さん

このプログラムを受講したことで自信を持つことができ、社会に出て活躍したいという気持ちが高まりました。産業リーダー実践までのプログラムで得られたものは、知識だけではなく、周りを議論に巻き込んで全員参加の話し合いをすること、相手に伝わりやすく工夫して発表することです。

今後は、この経験を活かして地域社会で活躍することで地域・産業界に還元していきたいと思っています。今後もっと多くの学生が、このプログラムを受講してもらえればいいなと思います。

Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

4月19日、26日 インターンシップ合同ガイダンス 12時15分～15時

(場所:全学共通教育棟2階21教室、申込不要、説明約30分。①12時15分～②13時～③14時～)

全学共通教育科目として前期に開講するインターンシップ3科目の合同ガイダンスを実施します。
※インターンシップ科目は4月中追加履修が可能です(詳細はガイダンスでお問い合わせください)

日程が合わない場合は、随時説明をしますので、地域協学センターまでお越しください。

インターンシップとは、民間企業や自治体、各種団体等の組織において就業体験を行う制度で、「働く意味」を考え「社会で必要とされる基礎的な力や心構え」を学ぶことができます。

科目 1 産業協働型インターンシップ I・II

単位数:1単位
期間:1週間程度
特色:2度のインターンシップを行い、専門分野以外にも挑戦し、視野を広げる。

科目 2 地域協働型インターンシップ

単位数:2単位
期間:2週間以上
特色:通常より、インターンシップ期間が長く、実務に携わる。

科目 3 自治体協働型インターンシップ

単位数:1単位
期間:1週間程度
特色:岐阜県における公務員の職務や統計調査の意義や仕組みを理解する。

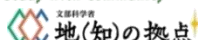
□合同ガイダンスの内容

- ① 3種類のインターンシップ科目やインターンシップ制度の説明
- ② 過去の事例の紹介等
- ③ スケジュールの案内



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community

国立大学法人 岐阜大学



■ TEL:058-293-3168

■ mail:ccsc@gifu-u.ac.jp

■ URL:<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/>

地域と繋がるプログラム特集

地域協学センターでは、岐阜大学の学生が地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材として成長できるように、様々な講義やプログラムを提供しています。今月の地域協学ニュースでは、岐阜大学の学生の皆さんが参加可能な地域と繋がるプログラムを紹介します。

企業見学会 Company Visits

ぎふフューチャーセンター

ボランティア

企業見学会は、企業の施設等を見学や説明を聞く機会です。大学の学びと地域や地元産業・企業とのつながりを認識する機会であるとともに、キャリア意識の向上を図る機会になります。

フューチャーセンター（Future Center）とは、多様な人たちが集まり複雑化したテーマ（課題）について「未来志向」、「未来の価値の創造」といった視点から議論する「対話の場」のことを指します。

地域と繋がる第一歩として、ボランティアに関する授業や、ボランティアの紹介や必要な支援を行う学生ボラネットがあります。



1 キラリと光る岐阜の企業に触れる【企業見学会】

プログラム概要

企業見学会

次世代地域リーダー育成プログラム（注1）の産業リーダーコース（注2）における必修プログラム。参加大学（注3）共通プログラムでもあります。

内容：企業の施設等を見学や説明を受け、企業活動の一端を知る。

対象：各大学 学部・学年不問

時期：通年（年度内に6回程度実施予定）

（注1）地域リテラシーを備え、地域で実践的に活躍し、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材ならびにリーダーを支援する人材である「次世代地域リーダー」を育成・輩出することを目的・目標とするプログラム

（注2）地域産業の担い手としてリーダーシップを発揮し活躍できる人材を育成することを目指しているコース。

（注3）岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜経済大学。他大学の学生とともに企業見学を実施。



2016/6/25高山企業見学会
(船坂酒造)

主な活動実績（平成28年度）

■平成28年6月25日:酒造業・サービス業

高山の食文化を創造する2社（有限会社船坂酒造店、株式会社ファミリストアさとう）を見学しました。高山市の観光に対する取り組みや高山市民の食生活を垣間見ることができました。

■平成29年2月20日:IT・サービス業

株式会社デリカサイト、共立コンピューターサービス株式会社）を見学しました。若手社員との座談会形式で働く意義を聞いたり、実際に働く上での疑問を聞ける機会となりました。また、「企画開発」を体感するグループワークもあり、他大学の学生とも打ち解けあう姿が見られました。



2017/2/20西濃企業見学会
(デリカサイト)

参加するには？

地域協学センターのHPのほか、AIMS掲示板、メールマガジンにより、企業見学会の開催案内・チラシを掲載しますので、イベント参加申込のページにアクセスいただき、お申し込みください。

□担当教員からのおススメポイント(地域協学センター 今永典秀特任助教)

岐阜県には、業界内でのトップシェアの企業やグローバルで展開する優良企業がたくさんあります。また、企業見学会では、企業の人と身近に接して、生の声を聞く機会があります。大学の外に出て、企業と触れ合い、働くことについて考えてみましょう。

2 様々な人と話し合う対話の機会【ぎふフューチャーセンター】

プログラム概要

フューチャーセンター（Future Center）とは、多様な人たちが集まり、複雑化したテーマ（課題）について「未来志向」、「未来の価値の創造」といった視点から議論する「対話の場」のことです。大学関係者に限らない様々なメンバーが集まって、地域の課題の解決策や未来に向けたアイデアの創出を目指します。おおよそ月に1回程度のペースで開催しています。

活動実績

平成28年度は14回、延べ300人以上が参加しました。

<対話のテーマ（抜粋）>

- 若者よ、投票に行こうⅡ
- 岐阜県への移住定住を考える
- 市民と学生が、岐阜大学と地域のつながりについて考える
- ジビエ肉が家庭で食べられるようになるには

参加するには？

地域協学センターHP参加申込フォームからお申込みください。

http://ccsc.gifu-u.ac.jp/ccsc/index/entry_list



2016/7/15 国際交流機会の増加をめざして、郡上の魅力を考えよう（体験交流）



2016/11/19 リニア岐阜県駅を活用した観光について

□先輩からのおススメポイント（地域科学部4年 竹中悠人）

私が参加したフューチャーセンターは、実際にまち歩きをしたので、その地域の魅力を肌で感じることができました。また、地域の方や自治体行政の方など自分とは違う立場の方と話し合うので、いろんな考えに触れることができ、新しい発見や気づきがたくさんありました。フューチャーセンターに参加して地域で起きている問題を自分事としてとらえ、考えるきっかけになりました。皆さんもぜひ参加してみてください！

3 地域と繋がる第一歩【ボランティア】

プログラム概要

ボランティアは、地域と繋がる第一歩です。全学共通教育科目「現代社会とボランティア・地域活動」では、ボランティア・地域活動に関する基礎的な知識やボランティアへの参加方法、ゲスト講師によるボランティア・地域活動事例を、座学やワークショップを通して学びます。また、皆さんの興味関心に沿ったボランティアを紹介し、必要な支援を行う窓口である学生ボラネットがあります。

活動実績

地域づくりを目的としたイベント「フェアトレードデイ垂井」や「柳ヶ瀬ジュラシックアーケード」の運営ボランティア、岐阜市が行う環境をテーマにした「まるごと環境フェア」の運営ボランティア、地域の方々と一緒に参加する、FC岐阜のホームゲーム運営ボランティアといった単発のボランティア活動の他に、学習支援ボランティアなど継続的なボランティア活動にも、多くの学生が参加しています。

参加するには？

「現代社会とボランティア・地域活動」は前期と後期、それぞれ同じ内容で開講しています。今年度は、後期で履修登録していただければ参加可能です。また、ボラネットは、学内の学生であれば誰でも利用できます。詳しくは、Facebook「学生ボラネット」でも紹介しています。

□担当教員からのおススメポイント（地域協学センター 後藤誠一助教）

ボランティアでは、多様な価値観や豊かな経験をもった人々と出会い、それまで気がつくことのなかった地域や社会の現実に触れることができます。一緒にボランティアについて学びましょう。



2016/5/8
フェアトレードデイ垂井



2016/11/20
まるごと環境フェア

地域協学センターの開講科目講義特集1

地域協学センターでは、岐阜大学の学生が地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる人材として成長できるように、様々な講義やプログラムを全学共通教育科目として提供しています。今月の地域協学ニュースでは、地域協学センターが開講する講義の一部を紹介します。

フューチャーセンター 入門(月5限)

フューチャーセンター(多様な人たちが集まる「対話の場」)についての基本的な知識を習得し、グループワークを通じて自分たちで企画を立案・実施します。

産業協働型インターン シップⅠ(集中)

この講義は、後期に開講する産業協働型インターンシップⅡとあわせて受講することで、2回のインターンシップを通じて、企業のそれぞれの良さを比較し、俯瞰的に企業で働くことを学べます。

地域産業と企業戦略入門 -岐阜の企業を知る(月2限)

実際に企業を見学し、企業人の交流を通して、実践的な知識や社会性を身につけ、企業を見る目を養います。複数の企業との接点を持つことで、将来のキャリアに対する視野を広げます。



1 フューチャーセンター入門(月5限:全共棟2A教室)

講義概要

フューチャーセンターとは多様な人たちが集まる「対話の場」。受講生はフューチャーセンターに関する基本的な知識や手法を学び、グループワークを通じて自分たちでフューチャーセンターを企画します。企画は2回行い、1回目の反省を生かした2回目は学外の方も交えて実施します。立案した企画を現実に実施するには様々な段取りが必要です。授業を通じて自ら企画・立案し、それを実行する能力を身につけて欲しいと考えています。

最近のフューチャーセンター入門で実施した企画

■平成28年度

- 「みんなが参加したくなる学校行事とは？」
- 「渋滞を解消して快適な交通環境をつくろう」
- 「大学生活を楽しむためには」
- 「授業への姿勢を正そう！」
- 「岐阜大学が日本一になるには」
- 「あなたのための岐阜大学～岐阜大学と地域がもっと関わるには～」
- 「将来について考えよう」(岐大フェアin高山 学生企画として実施)
- 「いい人どまりにならないために、もうひと押しを考える」

■平成29年度前期1回目

- 「あなたにとって有意義な休みを考えよう」
- 「大人って何だろう～大人になるために今できることを考えてみよう」



平成28年度前期「みんなが参加したくなる学校行事とは？」



平成28年度後期 岐大フェアin高山「将来について考えよう」

企画立案・実施に必要なこと

- ①企画の目的設定...一番大事！これがきちんと決まらないと進みません。グループワークで話し合い、教員のツッコミに切り返しながらか企画の核になる部分を決めていきます。
- ②参加者集め...一番大変！目的がはっきりしたら企画内容を具体的に組み立てながら参加者を募ります。うっかり参加者を呼ぶために企画を考える、という本末転倒な状況に陥らないように...
- ③役割分担...企画当日、誰が何をするのか丁寧に確認しておきましょう。何とかなるかもしれないけど、人事は尽くしてから天命を待ってください。

後期も開講します！(月5:全共2A教室)

ぜひ受講してみてください♪

2 産業協働型インターンシップ I

講義概要

インターンシップとは、企業へ実際に行き、就業体験をすることを指します。この講義では 1 週間程度のインターンシップへの参加を通し、企業で働くことをイメージし、俯瞰力（状況把握力）、共同推進力（人間関係構築力）などの必要な能力を理解し、自ら目標を設定し、今後の大学生活を通して、主体的に取り組み、改善できるようになることを目指します。授業は、事前研修会などの座学と、インターンシップ（実践）への参加で構成されています。

今年度の授業の様子

- 5月10日 チームで成果を出すとは？
- 5月17日 良いインターンシップとは何か、グループで考えよう
- 5月31日 良いインターンシップに必要な準備は何か、考えよう
- 6月21日 実際に企業の人話を聞いてみよう

講義を受講する・インターンシップについて知るには？

産業協働型インターンシップ I・II は前期と後期で開講しています。どちらから受けてもらっても大丈夫なように、講義は設計してあります。9/13には、他のインターンシップを受講した学生と合同での成果発表会も予定しています。インターンシップに興味があるなら、まずは成果発表会(日時:9/13 14:00～、会場:岐阜大学サテライトキャンパス)の参加をオススメします。



過去にインターンシップに行った学生からの発表を通じ、インターンシップの理解を深めます。



グループワークで自分たちが考えながらインターンシップに向けて準備を進めていきます。



企業への理解を深めるため、合同企業説明会へも講義の一貫で参加しました。

□学生からのおススメポイント(地域科学部2年 近藤李美さん)

インターンシップに行く前に何をすることが大事であるとわかりました。大学生活において、バイト、授業など与えられたものをただこなすだけが多いが、社会に出ると自分から見つけて行動しなければならないことを学びました。そのために、普段から主体的に行動することを心がけようと思うようになりました。

3 地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る(月2限:地域棟201教室)

講義概要

この授業では、主に岐阜県内の産業を題材に学び、実際に企業見学と企業人との交流会も実施します。他大学からのゲスト講師もお招きし、知識を深めた上で、実際の企業の現場を知り企業人と交流し、知識や社会性を自分のものとして体得してもらいます。また複数の企業との接点をもつことで自身のキャリアに対する視野を広げます。

今年度の授業の様子

- 4月24日 日本福祉大学の遠藤准教授から、経済学について学びました。
- 5月8日 中部大学の清水教授から、マーケティングについて学びました。
- 5月24日 3つの班に分かれ、製造業と非製造業の企業を見学に行きました。
- 5月31日 企業見学会の感想を5~6人で共有し合い、7月5日の交流会に向け、企業の方に学びの成果を発表する準備を開始しました。



2017/5/8(中部大学)
清水教授によるマーケティング講義



2017/5/24
企業見学会(エヌテック株)



2017/5/24
企業見学会(大進精工株)

講義を受講する・企業見学会に参加するには？

「地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る」は前期と後期、それぞれ同じ内容で開講しています。今年度は、後期で履修登録していただければ参加可能です。また、地域協学センターの主催する企業見学会は岐阜大学の学生であれば、無料で参加できます。詳細はセンターのHPをご覧ください。

□担当教員からのおススメポイント(地域協学センター 松林特任助教)
企業を見るポイントが分からなければ、工場を見ても「大きいなあ」、と言った感想で終わってしまいます。自分自身でこれは良い企業だと判断できる企業を見る目を養えるのがこの講義の良いところです。



「次世代地域リーダー育成プログラム」の修了生が、「第33回全国健康福祉祭岐阜大会（仮称）基本構想策定委員会」の委員に選定されるなど、地域で活躍！

■ TOPICS

- 01 次世代地域リーダー育成プログラムの修了生が地域で活躍しています
- 02 学長記者会見にて、地域協学センターの活動が取り上げられました
- 03 【高校生向け】宇宙工学講座が開講されました
- 04 郡上企業見学会を実施しました
- 05 平成29年度第2回「ぎふフューチャーセンター」を実施しました

01.次世代地域リーダー育成プログラムの修了生が地域で活躍しています

学長記者会見で、次世代地域リーダー育成プログラムで身につけたことを修了生が報告

<会見概要> (地域科学部4年 伊藤光毅)

新聞掲載

修了生として次世代地域リーダー育成プログラムにおいて学んだことやプログラムへの参加による意識の変化などについて発表しました。記者の方からはプログラムに参加した理由や就職活動の状況などに関する質問を受けました。記者会見に参加することでプログラムについて振り返ることができました。これからも地域の発展に貢献し続ける人材でありたいと改めて感じました。



「第33回全国健康福祉祭岐阜大会（仮称）基本構想策定委員会」の委員に修了生が選定

<委員会出席(平成29年6月7日)報告> (地域科学部4年 竹中悠人)

2020年に岐阜県で開催される「ねんりんピック」の策定委員会の委員として、各分野の専門家とともに出席しました。ねんりんピックとは高齢者の方を中心としたスポーツや健康、福祉を通じた祭典です。大会の愛称などを話し合うなど、委員会を通して大会をより良いものにするには地域という観点だけでなく、世代間交流など様々な切り口から考える必要があることを学びました。



平成29年度岐阜県生涯学習総合推進会議」において若者の地域参画についての修了生が事例報告

<発表報告> (教育学部4年 室井みなみ)

新聞掲載

6月16日に、昨年度受講した#やながせ初心者ツアー（同世代の若者に、柳ヶ瀬商店街の魅力を伝えるためのツアー）についての発表を行いました。情報発信の手段として、Twitterを活用したため、どんなメリットがあったかのなどの質問を受けました。発表後に、「若者の目線で考えてあり、とても魅力的だった。」と声を掛けてもらい、自分たちなりに考えてみることの大切さを改めて感じました。



02.学長記者会見で地域協学センターの活動が取り上げられました(6月21日)

6月21日(水)に、定例の学長記者会見で、次世代地域リーダー育成プログラムの修了生と受講生が、自身の取り組みや学びについてメディアに向けて発表しました。昨年度、修了した学生は、地元企業の魅力の発見や地域志向の意識が高まったことなど、教育プログラムを通じた学びについて報告しました。今回の学長記者会見の様子は、6月22日付の岐阜新聞(岐阜県版)及び中日新聞(県内総合)で報道されました。



03.【高校生向け】宇宙工学講座が開講されました(6月24日)

6月24日(土)に、平成29年度宇宙工学講座の開講式が本学サテライトキャンパスで開催されました。宇宙工学講座は、テレビ会議システムを活用し、地元高校生等に対して岐阜大学の教育、研究を体験できる機会を提供しています。今年度は、16の岐阜県内の高校・岐阜高等専門学校から34人の生徒が参加し、全9回の講座で、大学・高専・JAXAなどの技術者・研究者を講師とする最先端の宇宙教育を受講するだけでなく、実際にJAXA等の見学・研修も行われる予定です。



▲開講の挨拶(森脇学長)

04.郡上企業見学会を実施しました(6月24日)

6月24日(土)、「(株)牧歌コーポレーション」、「(株)ミサト工業」へ企業見学に行きました(4大学の学生17名)。

郡上でレジャー施設「牧歌の里」等を運営する(株)牧歌コーポレーションでは、施設内を自由に見学させていただくとともに経営陣から広報、サービス・新商品開発、組織運営等の説明を聞き、施設運営についての理解を深めました。

また、自動車部品で培った技術をもとに、一般消費者向け商品の売り上げを伸ばしている(株)ミサト工業では、社長自ら企業経営のやりがいと課題、業態転換を行った経緯や目指す夢をご説明いただくとともに学生の質問にも、ご回答いただきました。学生は主体的に働くことの意義・理解を深める場となりました。



05.第2回ぎふフューチャーセンターを実施しました(6月24日)

6月24日(土)に岐南町との共同で開催したぎふフューチャーセンターは、高校生7人や社会人7人、大学生12人が集まり、9月執行予定の町議会議員選挙における投票率UPに向けて考えました。

グループワークでは、なぜ投票に行く必要があるのか、若者が投票に行かない理由、どうすればより多くの若者が投票に行くだろうかについて対話し、例えば、「行かない世代、損する世代」や「親・家族、友達みんな投票に出かける」などの若者の投票率向上のスローガンと、具体的な方策が提案されました。



Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

8月7日 平成29年度後期開講予定のインターンシップ科目合同ガイダンス

(場所:全学共通教育棟3階31教室、申込不要、説明約30分。①13時30分~②14時30分~)

後期に全学共通教育科目として開講するインターンシップ科目(産業協働型インターンシップ、地域協働型インターンシップ、プロジェクト型インターンシップ)の合同ガイダンスを実施します。インターンシップに興味のある学生はぜひ、ご参加ください。

日程が合わない場合は、随時ご説明をしますので、地域協学センターまでお越しください。



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community

国立大学法人 岐阜大学 地(知)の拠点

■TEL:058-293-3168

■mail:ccsc@gifu-u.ac.jp

■URL:<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/>

地域産業と企業戦略入門 企業向け成果発表会



「地域産業と企業戦略入門」の講義において、企業向けに半年間の学習成果を発表しました(7月5日)

■ TOPICS

- 01 「地域産業と企業戦略入門」の講義において、企業向けに学習成果を発表しました。
- 02 「平成29年度第3回ぎふフューチャーセンター」を開催しました。
- 03 ぎふCOC+参加大学共通プログラム「高山企業見学会」を実施しました。
- 04 「FC入門」の受講学生が、学外関係者を招いてフューチャーセンターを実施しました。
- 05 スーパーハイスクールセッション(SSS)を開講しました。

01. 「地域産業と企業戦略入門」の講義において、企業向けに学習成果を発表

「地域産業と企業戦略入門—岐阜の企業を知る」は、次世代地域リーダー育成プログラム 産業リーダーコースの最初の指定科目です。主に岐阜県内の産業を題材に学び、実際の企業を知るために企業見学と企業人との交流会を実施しました。企業における基本的な経営戦略やリスクマネジメントの考え方を理解し、企業の現場を見学し、岐阜県内の企業の人との交流を通して、実践的な知識や社会性を身につけることを目的とした講義です。



学生は3グループに分かれて、岐阜県内の企業2社（製造業と非製造業）を6月7日に見学しました。見学先は「イマオコーポレーション・中広」「エヌテック・電算システム」「岐阜プラスチック工業・大進精工」の6社・3コースです。その後、約1か月間グループにて企業研究に取り組みました。7月5日には、企業に対する成果発表会を実施し、その後企業の方との交流会を実施しました。

学生からは「岐阜県内に魅力的な企業があることがわかって良かった」、「実際に企業の製品に触れ、楽しみながら企業の特徴を理解することができた」等の意見がありました。

この講義は、後期も月曜2限に開講予定です。岐阜県内の企業との接点を持ち、企業で働くことを考える機会になります。興味を持った人は、受講することを推奨します。



02.平成29年度第3回ぎふフューチャーセンター」を開催

7月8日(土)、郡上市明宝において開催したFCでは、明宝レディース、ジビエ工房めいほうといった明宝ならではの施設を見学した後、築100年という古民家源右衛門において「郡上に住み、働くこと」について考えました。

若い世代が郡上で働き生活するために必要なこととして、「楽観的な価値観」など移住者側の心構えや「地域の人々が意見交換できる場」など移住者・地域双方に求められる工夫も提案されました。



03.ぎふCOC+参加大学共通プログラム「高山企業見学会」を実施

7月8日(土)、「(株)本陣平野屋」、「(株)ファミリーストアさとう」の2社へ企業見学に行きました(4大学の学生17名)。

(株)本陣平野屋では、学生はお客様体験によって旅館の提供するおもてなしサービスを体感したうえで、おもてなしに基づいた企業戦略について若女将から説明をしてもらいました。

(株)ファミリーストアさとうでは、経営者から直接、地元密着で作上げた売り場の魅力や地元顧客から熱烈な支持を受ける企業経営についての説明を受けました。実際にスーパーマーケットにおいては試食等を通じて高山の食文化を体験することもでき、高山で働くことの魅力を体感できる有意義な企業見学会となりました。



04.「FC入門」の受講学生が、学外関係者を招いてフューチャーセンターを実施

7月18日(火)にサテライトキャンパスで、全学共通教育科目「フューチャーセンター入門」の受講生が、2グループに分かれて、「理想の家族像について考えてみよう」と「誰もが快適に公共交通機関を利用するためには？」をテーマにフューチャーセンターを実施しました。今回で前期2回目の実施となる学生企画では、学外の参加者が必須条件であったことから、他大学の学生や高校生、自治体職員の方々が参加し、岐大生と一緒にテーマについて考えました。テーマについて多くの意見が出され、参加者は多様な意見や考えに触れ、学ぶことができました。



05.スーパーハイスクールセッション(SSS)を開講

計4回にわたって開催したSSSでは、県立のスーパーハイスクール9校の高校生30名と岐大生が岐阜県の活性化のためのアイデアを考えました。

最終日の8月22日(火)にはアイデアコンクールが開催され、「バス事業の現状」について提案した3Gが最優秀賞、「廃校イノベーション」を提案した5Gが優秀賞として表彰されました。高校生と大学生が真剣に、時には楽しそうに企画提案に取り組んだ4日間でした。



Event Information

URL:<http://ccsc.gifu-u.ac.jp/>

平成29年度後期インターンシップ科目合同ガイダンス【9月】22、28、29日【10月】4、11、18日
(場所:【9月】全学共通教育教育棟2階21教室、【10月】全学共通教育教育棟2階27教室)

全学共通教育科目として開講するインターンシップ3科目の合同ガイダンスを実施します。ガイダンスでは、インターンシップの意義や制度の説明、過去のインターンシップの事例の紹介を行います。下記の日時で行いますので、インターンシップに興味のある方は、いずれかの回にご参加ください。

◆ガイダンス開催日時※いずれかにご参加ください。

【9/22(金)】①10:00②11:00③12:00④14:30⑤15:30 【9/28(木)】①10:30②11:30③13:00
【9/29(金)】④11:00 【10/4(水)】①12:15②13:15③14:15 【10/4(水)】④12:15⑤13:15⑥14:15
【10/18(水)】①12:15②13:15③14:15